

研究活動報告

この一覧は、本学生活科学科専任教員の2007年1月～12月における研究活動を本人お申し出に基づき収録したものです。(順不同)

■学術論文、学術書

- Abe, C., Ikeda, S., Uchida, T., Yamashita, K. and Ichikawa, T.: Triton WR1339, an inhibitor of lipoprotein lipase, decreases vitamin E concentration in some tissues of rats by inhibiting its transport to liver. *J. Nutr.* 137:345-350. (2007).
- Abe, C., Uchida, T., Ohta, M., Ichikawa, T., Yamashita, K. and Ikeda, S.: Cytochrome P450-dependent metabolism of vitamin E isoforms is a critical determinant of their tissue concentrations in rats. *Lipids* 42: 637-645. (2007).
- Uchida, T., Ichikawa, T., Abe, C., Yamashita, K. and Ikeda, S.: Dietary sesame seed decreases urinary excretion of α - and γ -tocopherol metabolites in rats. *J. Nutr. Sci. Vitaminol.* 53:372-376. (2007)
- Ikeda, S., Abe, C., Uchida, T., Ichikawa, T., Horio, F. and Yamashita, K.: Dietary sesame seed and its lignan increase ascorbic acid concentration in some tissues and its urinary excretion by stimulating its biosynthesis in rats. (2007). *J. Nutr. Sci. Vitaminol.* 53: 383-392.
- Yamashita, K., Yamada, Y., Kito, S., Ikeda, S., Abe, C., Saarinen, N. M. & Santti, R.: Hydroxymatairesinol and sesaminol act differently on tocopherol concentration in rats. *J. Nutr. Sci. Vitaminol.* 53: 393-399. (2007).
- Kimiko Ito, Yusuke Hiraku, and Shosuke Kawanishi: Photosensitized DNA damage induced by NADH: site specificity and mechanism. *Free Radical Research* 41, 461-468 (2007)
- 板東義雄, 浅野 聡, 今井正次: 「地域限定型」の県景観条例及び「理念活動型」の道県景観条例における景観施策の運用状況と役割に関する研究 景観条例を中心とした都道府県の景観施策の現状 その2, 日本建築学会計画系論文集 NO.612 P.99-107 2007年2月
- 河合慎介, 今井正次: 物品管理・供給システムからみた物品搬送量 病院の部門間連携に関する研究 2, 日本建築学会計画系論文集 NO.613 P.45-53 2007年3月
- 河合慎介, 勝野幸司, 今井正次: 物品配置からみた病棟看護業務位置の段階構成に関する基礎的研究, 日本建築学会計画系論文集 NO.614 P.89-96 2007年4月
- 藤枝秀樹, 今井正次, 木下誠一: 施設居住に伴う接客の変容に関する考察 高齢者療養施

- 設の接客空間計画に関する研究,日本建築学会計画系論文集 NO.616 P.39 2007年6月
- 吉岡大輔、今井正次、木下誠一、西本雅人:地域施設利用における効率的な公共交通ネットワークと施設配置 —地域格差課題に対応する交通・施設計画に関する研究、日本建築学会地域施設設計研究25pp.41-48 (2007 07)
 - 西本雅人、今井正次、木下誠一、今井悠紀子:小学校の学習スペースにおけるコーナーの使われ方とその空間特性、—学習スペースの利用計画に関する研究—、日本建築学会地域施設設計研究25 pp.125-134 (2007 07)
 - 松田慎也、今井正次、木下誠一、西本雅人:地域性をふまえた文化ホールの有効利用に関する研究、—施設利用・施設使用からみた既存施設の有効活用—、日本建築学会地域施設設計研究25pp.153-160 (2007 07)
 - 山田邦男、今井伸和、永島聡:『ブーバー ロジャーズ 対話—解説つき新版—』(翻訳), 春秋社, 2007年3月
 - 岩田俊二:「地方都市の近代都市形成史—津市を事例に—」,『2007年日本建築学会大会農村計画部門研究協議会・パネルディスカッション資料集—国土形成計画への農村計画分野からの展望—, いかに美しい国土をつくるか, 誰が守る. 九州の美しいむら』, pp117~122, 2007年9月
 - 吉田香、梅澤眞樹子、北村真理、黒田孝一:「食物中の微量元素に影響を与える要因について」, 生活衛生, Vol.51, 385-390, 2007
 - 北村香織:「占領期の公衆衛生政策及び社会福祉政策 —統計整備過程の差異に着目して」『四天王寺国際仏教大学大学院研究論集』2007年1月
 - 駒田亜衣:「黒石市での肥満改善健康教育プログラムの実施効果」(共著), 青森県立保健大学雑誌, 第8巻第1号, 2007.12.
 - 駒田亜衣:「The Specific Free Radical Scavenger Edaravone Suppresses Bleomycin-Induced Acute Pulmonary Injury in Rabbits」(共著), Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology.34, 22-26, 2007.1
 - 長友薫輝:「『自己責任論』と向き合う視点」『国民医療』No.232, 2007年1月号
 - 長友薫輝:「四日市公害と社会福祉—生命・生活・健康と向き合う—」『四日市学講義』風媒社, 2007年7月
 - 長友薫輝:「国民健康保険制度の持続可能性—国保再生へ向けて—」『日本の科学者』Vol.42 No.10, 2007年10月号
 - 原 幸一:「知覚と記憶の発達」多鹿秀継・竹内謙彰編『発達と学習の心理学』学文社 2007.
 - Suwa, M., & Hara, K. 2007 'Hikikomori' among young adults in japan.—The importance of differential diagnosis between primary Hikikomori and Hikikomori with high-functioning

■ 紀要等

- ・ 飯田津喜美, 水谷令子:「三重県北中部地域における「シロミドリ豆」の利用について」三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第 55 号, pp 1-4, 2007 年 3 月
- ・ 今井伸和:「フランクフルトにおける日常性の問題」, 『三重短期大学生生活科学研究会紀要』, No. 55, pp. 1-8, 2007 年 3 月
- ・ 岩田俊二, 中井加代子, 佐古真由美, 伊藤遙, 川島英理, 蟹江真海, 鈴木麻由, 鈴木和香子:「幼保一体化施設の運営状況—千代田区, 掛川市, 東員町の事例—」, 『三重短期大学生生活科学研究会紀要』, No. 55, pp9~14, 2007 年 3 月
- ・ 岩田俊二, 中井加代子:「地方中心都市の都市計画史に関する研究—津市—を事例に」, 『地研年報』第 12 号, pp1~59, 三重短期大学地域問題総合調査研究室, 2007 年 3 月
- ・ 宇城啓至:「蛋白リン酸化酵素 PAASK 欠失マウスの性状解析」, 『三重短期大学生生活科学研究会紀要』, 第55号, pp. 35-37, 2007年3月
- ・ 梅澤眞樹子:「食育の大切さと人材の育成」, 地域問題研究, No.73, 35-42, 2007.6
- ・ 東福寺一郎:論説 市町村合併と男女共同参画行政～合併施行 5 町の比較～(2・完) 地研年報 第 12 号 89-95 単著
- ・ 中井晴美・草深みな子: 献立作成要因についての一考察、一本学食物栄養学専攻生の選択メニューの栄養評価—『三重短期大学生生活科学研究会紀要』, 第 55 号, pp15-25 2007 年 3 月
- ・ 長友薫輝:「国民健康保険制度の持続可能性—滞納者への政策的対応に着目して—」『地研年報』第 12 号、2007 年 3 月
- ・ 長友薫輝:「私の研究ノート:二つのカフェ」『月刊 福祉のひろば』2007 年 12 月号

■ 学会報告

- ・ 阿部稚里, 梅澤眞樹子:「病態食別における食事満足度調査」『第54回日本栄養改善学会 学術総会』, 2007年9月
- ・ 阿部稚里:「ラット体内ビタミンE濃度の調節因子に関する研究」(共同発表)『第2回 日本栄養改善学会・若手の会冬季シンポジウム』, 2007年12月
- ・ Iida T., Nishimura S., Mochizuki N., Uchiyama S., Ohkubo T., Urade Y., Tanaka A., Inui T.: Thermal stability of lipocalin-type prostaglandin D synthase. Joint meeting of the Japanese Biochemical Society & the Molecular Biology Society of Japanese (BMB2007), Dec. 2007, Yokohama, Japan.

- Kimiko Ito and Mariko Murata :Dietary supplementation with coenzyme Q 10 decreases urinary level of 8-hydroxydeoxyguanosine in healthy subjects. 1st Asian Conference on Environmental Mutagens. Nov. 2007, Kokura, Japan.
- 今井正次(共同):自由保育中における子どものあそびの展開性とコーナーの関係に関する研究、日本建築学会東海支部研究報告書 第45号 愛知工業大学、pp.453-456, 200702
- 今井正次(共同):市町村合併に伴う行政庁舎の再編成・統廃合の実態に関する研究(庁舎利用方式の洗濯と空きスペースの発生状況)、日本建築学会東海支部研究報告書 第45号 愛知工業大学、pp.497-500, 200702
- 今井正次(共同):市町村合併に伴う行政庁舎の有効利用に関する研究 ー三重県の6市町を対象に 日本建築学会東海支部研究報告書 第45号 愛知工業大学、pp.301-304, 200702
- 今井正次(共同):施設利用の推移にライフサイクルが与える影響に関する研究 ー図書館とコミュニティ施設の比較を通してー 日本建築学会東海支部研究報告書 第45号 愛知工業大学、pp.589-592, 200702
- 今井正次(共同):施設使用タイプの構成から見た文化ホールの地域性に関する研究、日本建築学会東海支部研究報告書 第45号 愛知工業大学、pp.593-596, 200702
- 今井正次(共同):施設利用における地域間の交通格差に対応する公共交通網に関する研究、日本建築学会東海支部研究報告書 第45号 愛知工業大学、pp.597-600, 200702
- 今井正次(共同):知的障害者入所施設のユニット化に関する研究 支援員の動線分析からみた施設計画、日本建築学会大会学術講演(九州)2007年, E-1分冊, p.203 -204
- 今井正次(共同):病院における子どもの支援空間に関する研究、日本建築学会大会学術講演(九州)2007年, E-1分冊, p.343 -344
- 今井正次(共同):ライフサイクルとライフスタイルにみる生涯学習施設の利用者特性 生活構造からみる地域施設の有効利用に関する基礎的研究、日本建築学会大会学術講演(九州)2007年, E-1分冊, p.373 -734
- 今井正次(共同):自由保育中における子どもの遊びの展開性に関する研究、日本建築学会大会学術講演(九州)2007年, E-1分冊, p.497-498
- 今井正次(共同):合併の行われた三重県市町村の庁舎の実態 市町村合併に伴う行政庁舎の有効利用に関する研究、日本建築学会大会学術講演(九州)2007年, E-1分冊, p.785-786
- 今井正次(共同):南北反転配置式リビングアクセス型集合住宅における近隣交流と住み方実態の報告、日本建築学会大会学術講演(九州)2007年, E-2分冊, p.383 -384
- 上山英三、八木哲也、細江繁幸:「アナログビジョンチップに基づく運動視知覚の一考察」,

計測自動制御学会主催 第19回自律分散システム・シンポジウム(東京工業大学、東京),
資料集pp.127-130, 2007年1月

- ・堤智斉, 宇城啓至, 小阪孝三, 木村一志, 中嶋久子, 溝口明:「Ste20類縁プロテインキナーゼPASKによる微小管の安定化」第80回日本生化学会大会第30回日本分子生物学会合同大会, 2007年12月, 横浜
- ・梅澤眞樹子:「新調理システムにおけるミネラルの変化」, 第59回日本家政学会大会, 2007年5月
- ・梅澤眞樹子(共同):「SAMP1 における食事性脂肪による老化制御」, 第22回老化促進モデルマウス(SAM)研究協議会, 2007年7月
- ・梅澤眞樹子:「食事満足度における献立分析」, 第54回日本栄養改善学会学術総会, 2007年9月
- ・駒田亜衣:脳卒中と心疾患のリスクを予測する各種計算法の精度の比較と発症予防効果の評価、第66回日本公衆衛生学会総会抄録集 pp234、2007.10(松山市)(共同)
- ・駒田亜衣:心疾患発症リスクスコアと食事性因子に関する公衆栄養学的研究、第54回栄養改善学会学術総会講演要旨集 pp189、2007.9(長崎市)(共同)
- ・駒田亜衣:黒石市における肥満改善を目的とした健康教育プログラムの影響、第54回栄養改善学会学術総会講演要旨集 pp154、2007.9(長崎市)(共同)
- ・駒田亜衣:肥満の解消を目的とする栄養教育プログラムの食生活改善効果、食物記録法と食物摂取頻度調査法(FFQ)による食事調査結果の比較、日本家政学会第59回大会、2007.5(岐阜市)(共同)
- ・駒田亜衣:心疾患と脳血管疾患のリスクを予測する各種 Health Risk Appraisal ソフトの妥当性の比較検討、第39回日本動脈硬化学会総会・学術集会 プログラム・抄録集 pp251、2007.7(大阪市)(共同)
- ・駒田亜衣:脳卒中の発症リスクと食事因子との関連に関する公衆栄養学的研究、2006年度青森県保健医療福祉研究発表会プログラム・抄録集 pp94-95、2007.2(青森市)(共同)
- ・駒田亜衣:健康寿命アップ食生活研究班の結果報告-6 市町村の調査結果と総合分析-、2006年度青森県保健医療福祉研究発表会プログラム・抄録集 pp96-97、2007.2(青森市)(共同)
- ・駒田亜衣:青森県の住民基本健診データを用いた糖尿病合併症のリスク解析に関する研究、2006年度青森県保健医療福祉研究発表会プログラム・抄録集 pp36-37、2007.2(青森市)(共同)

■その他の報告等(講演・創作発表等を含む)

- ・ 阿部稚里:「ビタミンに関する栄養学」(講演),三重アカデミックセミナー,2007年8月
- ・ 阿部稚里:「メタボリック症候群の予防と食生活」(講演),津地方裁判所,2007年9月
- ・ 阿部稚里:「メタボリックシンドロームの予防」(講演),三重銀行,2007年9月
- ・ 伊藤貴美子:抗酸化健康食品,特にコエンザイムQ₁₀の遺伝子損傷性に基づく安全性・有効性の評価.平成17~18年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書(2007)
- ・ 今井正次:地域の保健室としての公共施設 C&D vol.38.no.147. pp.36-39,2007年12月
- ・ 今井伸和:「かめやまの安全安心な暮らし・大切な命」(講演),かめやま環境市民大学,2008年2月
- ・ 岩田俊二:「農と住の調和あるまちづくり」.三重県農と住の調和あるまちづくり協議会,JA三重中央会,2007年3月
- ・ 梅澤眞樹子:「健康都市を目指して~元気あるまちづくりのために~」,2007年度三重短期大学公開講座,2007年9月
- ・ 北村香織:「丸山博と社会福祉」(報告),医学史研究会,2007年9月。
- ・ 北村香織:「公的扶助論」,大阪社会福祉研修センター,国家試験準備講座講師,2007年8月。
- ・ 北村香織:「社会保障論」,京都社会福祉士会:受験対策講座講師,2007年9月、10月、12月。
- ・ 長友薫輝:「社会保障制度と格差社会ー医療改革と国保に着目してー」(三重県医療ソーシャルワーカー協会総会記念講演,2007年4月)
- ・ 長友薫輝:「四日市公害問題と社会福祉」(三重大学「四日市学」2007年6月)
- ・ 長友薫輝:「大阪再生と府民の生活問題」(大阪大都市圏研究会講演,2007年7月)
- ・ 長友薫輝:「これからの地域医療」(大阪ナースウェーブ集会講演,2007年11月)
- ・ 長友薫輝:「来日外国人の子どもたちと地域福祉(まちづくり)」(かめやま環境市民大学,2007年12月)
- ・ 原 幸一:「軽度発達障害を持つ子どもへの対応」 マツテヤ子どもの家 職員研修会 2007年 7月
- ・ 原 幸一:「高機能自閉症・アスペルガー障害、学習障害、ADHDについて」 三重県四日市市川島小学校 教員研修会講師 2007年8月
- ・ 原 幸一:「子どもの行動とこころ」 家庭教育講座 三重県四日市市常磐西小学校 2007年 11月
- ・ 原 幸一:平成19年度 三重短期大学公開講座「これからの子育て」 討論者 2007年 11月

■共同研究(助成・受託研究等)

- ・阿部稚里:文部科学研究費補助金若手研究B,「脳におけるビタミンE代謝の機構解明」, 2006-2008年度
- ・上山英三:独立行政法人理化学研究所バイオ・ミメティックコントロール研究センター,「生体模倣型視覚情報処理機構と生体運動制御への応用」運動系システム制御理論研究チーム 客員研究員
- ・上山英三:文部科学省 科学研究補助金 若手研究(A) #18700190(平成18~19年度)「ビジョンチップと反応拡散チップを用いた運動視知覚の研究」

■その他(社会的活動)

- ・阿部稚里:日本栄養改善学会若手の会世話人
- ・伊藤貴美子:津市情報化推進研究会委員, 2007年11月~2009年10月
- ・今井正次:三重県地震防災推進委員会 委員長 ~2007年3月
- ・今井正次:三重県文化芸術振興方策検討委員会 三重県生活部文化振興室 ~2007年3月
- ・今井正次:三重県文化賞選考委員会 三重県生活部文化振興室 委員長 2007年度
- ・今井正次:津市デザイン委員会 副委員長 1986年~
- ・今井正次:鈴鹿市建築審査会 会長代理 1996年~
- ・今井正次:三重大学工学部建築学科 非常勤講師(建築経営工学II)2007年度後期
- ・今井正次:高知県いのまち国保仁淀病院設計者選定プロポーザル審査委員 2007年11月
- ・今井正次:三重県文化審議会 委員 同 博物館検討部会 部会長 2007年6月~
- ・今井正次:津市政懇談会・健康とスポーツの拠点形成部会 委員 2007年12月
- ・今井正次:日本医療福祉建築協会 理事 2002年~
- ・今井正次:日本病院管理学会 評議員 1995年~
- ・今井伸和:津市環境基本計画策定市民委員会委員, 2007年5月~2008年3月
- ・今井伸和:亀山市総合環境研究センター研究員, 2007年6月~2008年6月
- ・岩田俊二:津市建築審査会会長代理, 津市都市計画部, 1999年8月~
- ・岩田俊二:津市有償福祉運送協議会会長, 津市健康福祉部, 2005年4月~
- ・岩田俊二:津市農業振興地域整備計画策定協議会会長, 津市産業労働部, 2006年7月~
- ・岩田俊二:三重県総合評価審査委員会委員, 三重県県土整備部, 2006年4月~
- ・岩田俊二:津市環境基本計画策定市民委員会会長, 津市環境部, 2007年4月~
- ・北村香織:「津市公共交通システム検討委員」委員(2007年11月~2009年3月)
- ・北村香織:「津市まちづくり市民委員会」委員(2007年12月~2009年3月)

- ・ 駒田亜衣:伊勢市環境審議会委員, 2007年10月～2009年3月
- ・ 東福寺一郎:「男女がいきいきと働いている企業」知事表彰選考委員(三重県)
- ・ 東福寺一郎:三重県男女共同参画審議会委員
- ・ 東福寺一郎:三重県男女共同参画センター運営協議会委員長
- ・ 東福寺一郎:三重県立亀山高等学校評議員
- ・ 東福寺一郎:亀山市生涯学習推進会議委員
- ・ 東福寺一郎:津市民交流計画策定懇話会委員長
- ・ 長友薫輝:津市介護保険事業等検討委員会委員、2006年2月～2008年9月
- ・ 長友薫輝:亀山市総合環境研究センター研究員、2007年6月～2009年5月
- ・ 原 幸一:特別支援教育および周辺領域に関する相談・コンサルテーション 三重県四日市市立常磐西小学校 2007年度
- ・ 原 幸一:三重県里親委託推進委員会委員長 三重県児童相談センター 2007年度